

平成23年度 外務省委託

# 平和構築人材育成事業

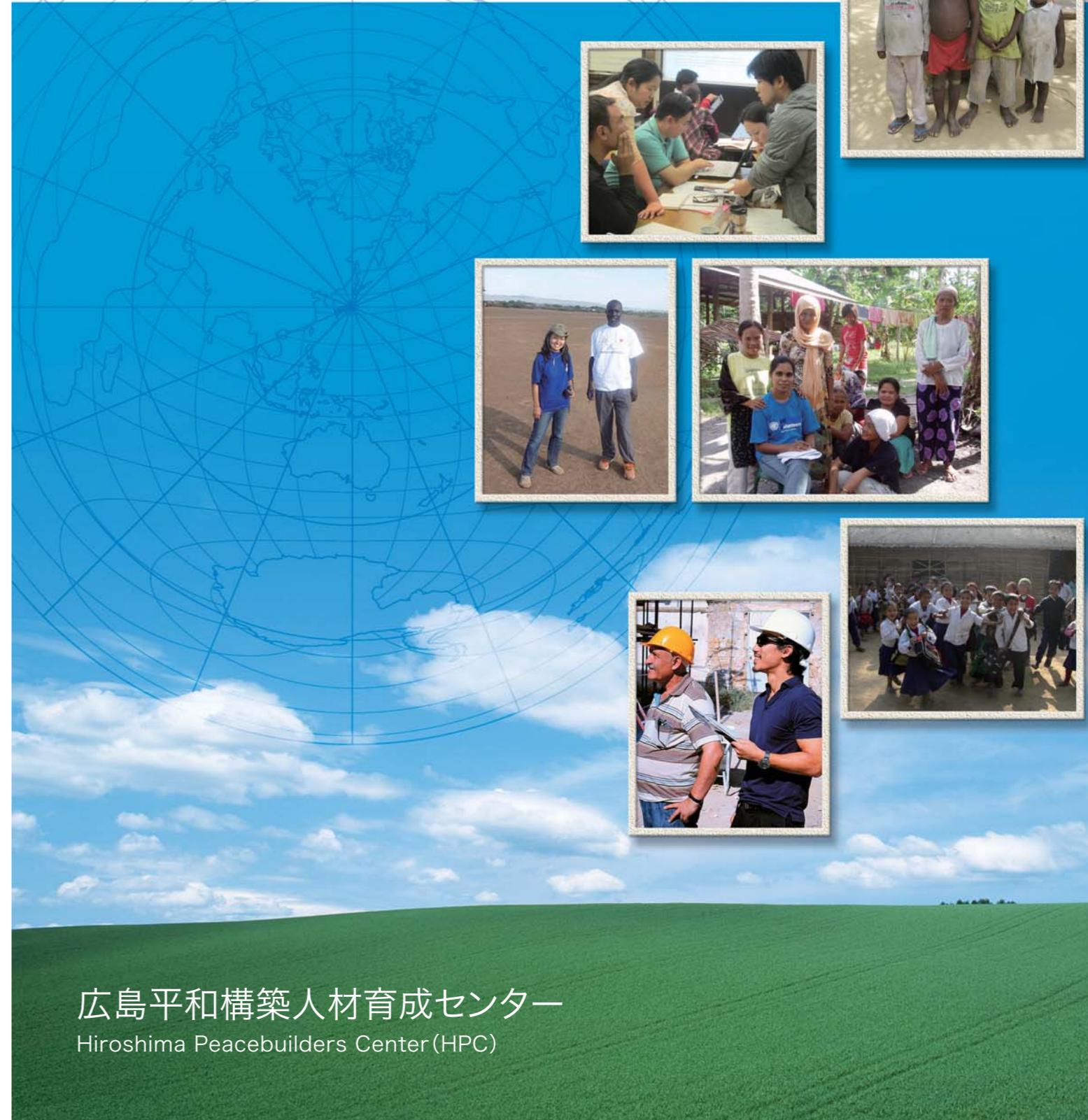
The Program for Human Resource Development  
in Asia for Peacebuilding



HPCのロゴは、不死鳥を象ったもので、奇跡の戦後復興を遂げた広島で、紛争後の国を支援する平和構築のプロを育成するというHPCの精神を象徴しています。

発行年月 2012年3月  
発行 一般社団法人  
広島平和構築人材育成センター  
Hiroshima Peacebuilders Center (HPC)  
〒730-0041 広島県広島市中区小町1-20  
TEL : 082-236-1414 FAX : 082-247-0643  
e-mail : hpc@peacebuilders.jp  
URL : <http://www.peacebuilderscenter.jp/>

コピーライト(C)  
企画・編集 一般社団法人 広島平和構築人材育成センター



広島平和構築人材育成センター  
Hiroshima Peacebuilders Center (HPC)

# 2011 REPORT

## 本事業の主旨



### Messages from Key Persons 2011 私たちがめざす平和構築の専門家の養成

玄葉 光一郎  
外務大臣

我が国は文民専門家の育成を通じて国際社会の平和と安定に貢献します。

紛争後の平和構築は国際社会における重要課題の一つとなっています。眞の平和を達成するためには、単に紛争を終結させるだけではなく、紛争により破壊された市民生活を再生し、持続的な社会的安定を構築することが不可欠です。そのため、近年、紛争後の平和と安定や復興・国づくり支援に携わる多様な分野の文民専門家の役割に注目が集まっています。本事業は、平和構築の分野で中核的な役割を果たす文民専門家の育成を通じ、国際社会の平和と安定に貢献することを目的としています。我が国及びアジア諸国の研修員が、平和を担う文民専門家に成長すべく世界へと羽ばたくことを強く期待しています。



伊勢崎 賢治

広島平和構築人材育成センター(HPC)代表理事、NPO法人ピースビルダーズ 代表理事、東京外国语大学(TUFS)大学院総合国際学研究院(国際社会部門・国際研究系)教授

目指すスキルは世界で活躍する「即戦力」、平和構築を担うプロを開発します。

このプログラムは単なる「訓練」ではありません。「ピースビルダー」を作るための「人材開発」事業です。世界中のどんな地域においても平和構築に貢献できる将来のプロフェッショナルを「開発」するプログラムなのです。

私たちは、平和構築への強い意志を持つ若きピースビルダーたちが、お互いを励まし続けられるコミュニティを創り出し、彼らにアジアやその他の国々において社会改善の主流を担う存在となっていただきたい。そうすることで「ピースビルダーズ」としてのキャリアを強固なものにすると感じています。



フランシア・パンシェーリー

国連ボランティア計画(UNV)事務局長

ボランティア精神は平和と発展の力強いリソースです。

本事業の研修員は平和構築の現場でベストを尽くせるよう、国内研修を通して必要な知識とスキルを着実に身につけます。そのため、本事業で海外実務研修に協力したUNVやその他国際機関は、質の高い人材を受け入れることができました。今年度もまた、研修員のプロとしての意識とボランティア精神が幅広い平和構築活動へと導いてくれることに期待しています。また、研修員の方々にはボランティアリズムが平和と発展の力強いリソースであることを実感し、研修後もそれぞれの方法で平和構築の取り組みに貢献し続けて欲しいと願っています。



## CONTENTS

### 本事業の主旨

- 私たちがめざす 平和構築の専門家の養成 01
- 「平和構築」とは? 02
- 國際支援の必要性 03
- 本事業の概略 03
- 本事業に至るまで 04
- 実施体制 04

### 本事業的主要施策

- 平成23年度 平和構築人材育成事業概要 05
- 実践を目的としたプログラム 07
- 充実の講師陣 08

### 本事業の特長

- キャリア構築サポート 09

### 平成23年度施策リポート

- 本コース①国内研修 11
- 本コース②国内研修 13
- 本コース③海外実務研修 15
- 平和構築基礎セミナー 17
- HPCの活動スケジュール 19
- 5周年シンポジウムを開催 21

### 本事業5年間の軌跡

- 様々な現場で経験を重ねた 豊富な実績 23
- データで見る、 平和構築人材育成事業 25

## 「平和構築」とは?

私たちは、「平和構築」を「永続的な平和のための社会的基盤を作る活動」と考えています。具体的には、武装解除・動員解除・元兵士の社会再統合、法の支配の確立、兵器の管理・可能な限りの破壊、難民の帰還、治安維持要員への助言・訓練支援・改革、選挙支援、社会・経済開発などであり、その担い手は中央・地方政府、国連あるいはその他の国際組織、非政府組織など様々です。

「平和構築」とは、軍事的な紛争に苛まれた社会を、安定した社会へと導いていくための包括的な活動のことであり、紛争処理だけではなく、腐敗撲滅やHIV/AIDSなどの感染症教育・制御といった平和のための社会的基盤を確立するための活動を広く指します。



## 国際支援の必要性

世界中でお紛争が絶えない今、紛争はそこから遠く離れている私たちの経済活動や環境にも何らかの関わりを持っています。破壊された町や心身ともに傷ついた人々が紛争後の社会を再建するには困難が伴います。それは現地社会の人々だけでは成し遂げられないかもしれません。二度と紛争が起こらない平和な社会を創る「平和構築」には、法律、政治、経済、警察などを作りかえていかねばならず、様々な分野のいろいろな能力を持った人びとが必要となってくるからです。そこで同じ地球に住む市民であるわれわれは、苦しむ人々への救済や紛争解決のための具体的な方法を見出さなければならないのです。

現在行われている平和維持・平和構築では文民の活躍の場が広がっているにもかかわらず、高い能力が求められるため、まだだだ担い手が足りていません。平和構築の現場は非常に複雑で、武力勢力や犯罪組織、汚職といった状況に直面し、フィールド体験からしか得ることのできない能力が求められます。加えて現地社会の仕組みや価値観などを尊重した質の高い平和構築手法が要求されます。

また平和構築の現場では、専門的知識・技能、現地社会の人々と円滑にコミュニケーションする能力、前向きな思考、強い意志がなければ活動を続けていくことはできません。高い能力と強い意思の2つが備わっていなければ、国際社会が必要とする平和構築の専門家とは言えないのです。

日本が経験した復興の歴史や、アジアの視点を活かした幅広いアプローチをもとにした人材育成事業を通じて、平和構築の専門家を「ヒロシマ」から送り出すことは、とても象徴的な意味を持ちます。平和構築の現場で眞の平和を創り上げる際の強い平和へのアピールとなるからです。日本から、アジアから飛び立つ眞の平和構築の専門家を、紛争で傷ついた社会の人々は待っています。

※肩書きは事業関与当時のものとなっています。  
※本誌で使用した写真は本事業修了生、HPC職員、NPO法人ピースビルダーズ会員および外務省が提供。

# 平和構築人材育成事業

## 本事業の概要

### 平和構築の「担い手」をつくります。

地球温暖化やテロ、大量破壊兵器などの様々な問題に対処するため、国際社会は一致協力することを求められています。特に国際平和と安全の維持においては、国際社会の協力的重要性が増しています。日本は唯一の被爆国として核兵器をはじめとする大量破壊兵器等の軍縮や不拡散などに取り組み、人的貢献として国連平和維持活動(PKO)への要員派遣やテロ対策への取り組みなどを行ってきました。しかし、紛争を解決し平和を構築する分野での人材育成はまだ発展途上にあると言えます。

これまで日本の平和構築は、世界の平和と発展のために「現場での取り組み(PKOや政府開発援助:ODAなど)」「国連における取り組み」「人材育成」を3本柱に取り組んできました。このたびの「平和構築人材育成事業」においては、3本柱の一つである「人材育成」を主目的に実施し、同時にシンポジウム開催等による「知的貢献」も視野に入れながら、日本のみならずアジアからも人材を集め、平和構築専門家の養成を行い、世界の最前線に立つ高い能力を持った人材を一人でも多く育成することを目指しました。

## 本事業に至るまで

紛争に苦しむ国々に対し、平和の定着や国づくりのための協力を強化し、日本の国際協力の柱とするための検討を行うため、平成14(2002)年「国際平和協力懇談会」(明石康・座長)が開催され、同年12月に報告書がとりまとめられました。そこで官民一体となって、国際平和協力活動の人材の養成・研修・採用・派遣を効率的・総合的に行う有機的なメカニズムの創設が提唱されました。

その後の平成16(2004)年4月、人材育成のための具体的な施策を明らかにした「行動計画」が策定され、同年12月には「国際平和協力分野における人材育成セミナー」などが開催されるなど人材育成の重要性の認識が高まっていきました。

このような経緯をうけ、平成18(2006)年8月、国連大学で開催された「平和構築を担う人材とは・アジアにおける平和構築分

野の人材育成に関するセミナー」で「平和構築分野の人材育成のためのパイロット事業」の立ち上げが表明されました。さらに、翌平成19(2007)年1月に開催された東アジアサミットなどで、日本による東アジア協力の一つとして「平和構築分野の人材育成構想」が表明され、日本のみならずアジアを含めた事業となることが明確になりました。

日本が世界の平和と発展に貢献し、平和構築分野におけるさらなる協力をしていくため、平成19(2007)年度から22(2010)年度の4年にわたって本事業が実施されました。平成23(2011)年度も広島平和構築人材育成センターが事業運営にあたりました。これまでの本事業の修了生は、アフガニスタン、南スチーダン、ケニア、東ティモール等の世界各地の国連PKOミッション、国際機関の現地事務所、政府機関、NGO等で活躍しています。

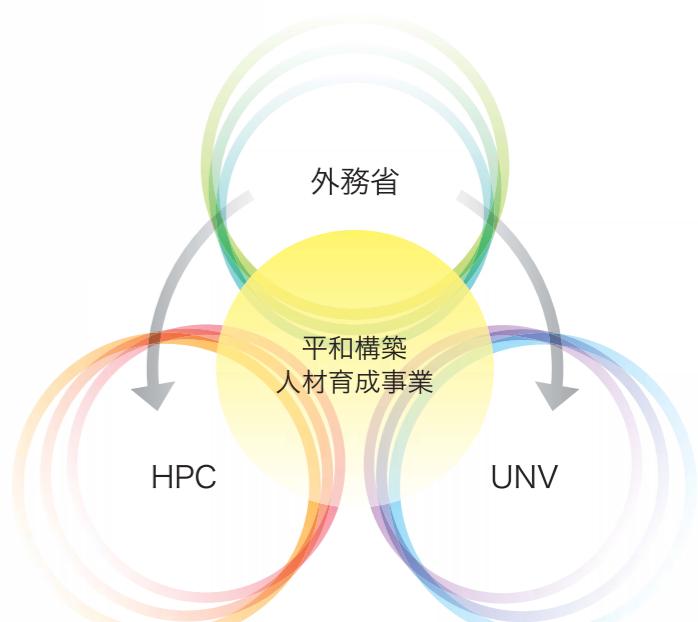


## 実施体制

「平成23年度平和構築人材育成事業」は、広島平和構築人材育成センター(Hiroshima Peacebuilders Center:HPC)が、国連ボランティア計画(UNV)と連携して実施しました。

### ●広島平和構築人材育成センター(HPC)

広島平和構築人材育成センターは、平和構築分野の人材育成、調査・研究などの事業実施を目的として創設された団体です。過去4年間の事業運営経験を活かしながら、本年度より一般社団法人化しました。外務省委託・平成23年度「平和構築人材育成事業」の事業実施体です。



### ●国連ボランティア計画(UNV)

世界の平和と開発を支援するために、ボランティアリズムを推進する国連機関です。ボランティアリズムは開発のペースや性質を変える力を持っており、社会全体とボランティア個人に対して利益をもたらすものです。UNVは地球規模のボランティ

アリズムの啓発、ボランティアリズムを開発計画に融合するためのパートナーとの連携、そしてボランティアの動員を通して、世界の開発に貢献しています。本事業では海外実務研修を行いました。



篠田 英朗

広島平和構築人材育成センター(HPC)  
理事・事務局長  
国立大学法人 広島大学  
平和科学研究センター・  
大学院国際協力研究科 准教授

### 対象に合わせたプログラムを提供

平成23年度外務省委託「平和構築人材育成事業」では、「本コース」、「平和構築基礎セミナー」の2つのコースを実施しました。

本事業のメインコースであり、平和構築分野でのキャリア形成を目指す方々が、現場への第一歩を踏み出す機会を提供する「本コース」、平和構築の基礎的な理解の増進を目指した「平和構築基礎セミナー」という対象の異なる2つのコースの設置により、研修員の目的に合わせたサポートを提供しました。

本コースでは、東京で政府関係者や国際機関関係者と交流する機会を設けた後、陸上自衛隊国際平和活動教育隊の施設で安全管理面の研修を受け、広島に移動しました。広島では、「アナリシス」、「プランニング」、「コーディネーション」、「プロジェクト・マネジメント」、「スキルアップ」※1といったテーマを各週

に定めて、研修全体に大きな流れを作り出しました。この過程の中で最新の平和構築をめぐる概念や議論、現場の実情、実務遂行の方法論、キャリア構築のためのスキルなどを、学び、議論し、体験してもらいました。キャリア構築を意識したコースとして、ワークショップでの演習を通じた作業を数多く取り入れる配慮もしました。

平和構築基礎セミナーは、日本国内外で活躍されている日本人の講師の方々に日替わりで講義をしていただきました。長期に渡る専門的な国内研修や海外実務研修・海外派遣に参加することは難しいが、将来的に平和構築分野に携わりたいという方々を対象にしているということを意識して、平和構築において何が問題になっているのか、という大きな視点での議論を広げていくことを心がけました。

※1.日本人研修員のみの参加(東京)



### 将来に向けての財産となる 人的ネットワークを形成

本事業の魅力は、第一線の研究者、国連職員を含む一流の講師陣による講義や、本コースの研修員を対象としたキャリア構築支援だけではありません。

講師をはじめ、国内外から参加した多様なバックグラウンドを持つ研修員、さらには既に平和構築分野でキャリアを形成して活躍している修了生とのネットワークが、研修や行事等の機会を通じて形成されることが、本事業の大きな魅力です。

人材育成には長期にわたる視野が必要ですから、こうした人的ネットワークこそが参加する方々の将来にとって最大の財産となるはずだと考えています。

### 知的貢献活動に注力し、 国内外へ情報を発信

本年度もIAPTC(International Association of Peacekeeping Training Centres)など平和構築分野の専門家が集まる会合にも積極的に参加して知的貢献・情報収集・ネットワーク形成に注力しております。また、2012年2月には5周年を記念したシンポジウムを開催しました。このシンポジウムは、本事業の発展ばかりでなく、平和構築分野全体の発展に寄与する活動となりました。また、国内外より平和構築分野で活躍の方々を招聘し、平和構築の分野に興味を持つ一般の方々や研修員らが過去の修了生と交流する場を設けることができました。

今年度実施されたこれらの研修事業、知的貢献事業によって、本事業は平和構築に貢献する意志と能力を持った多くの人材の輩出と、専門家から一般の方々まで含めた様々なレベルでの平和構築の理解の増進に大きく貢献することができました。



# 本事業の主要施策

## 実践を目的としたプログラム／充実

## の講師陣



### ○ 実践を目的としたプログラム

#### ① 本コース／国内研修



日本およびアジア諸国から集まった研修員が、約6週間にわたり寝食を共にし、互いに切磋琢磨します。講義や参加型の問題解決ワークショップによる学習、自由討論や就職ガイダンスなども組み合わせ、平和構築支援のアプローチを作り上げていくことを目指しています。平和構築の専門的研究の実績をもとに、海外の平和構築人材育成機関や国連などの国際機関と連携し、世界最高水準の講師陣による充実した研修を実施します。それによって、平和構築支援の第一線で活躍する実務家との人脉づくりも期待されます。

#### ② 本コース／海外実務研修



国内研修後は、国連ボランティア計画(UNV)を通じて国際機関等の平和構築の現場へ派遣され、最大12ヶ月間の実務研修を行います。平和構築支援を担うプロフェッショナルになるためには、実務経験が欠かせません。国内研修で習得した理論やスキルなどを平和構築の現場で実践し、即戦力となる人材を育成します。

#### ③ 平和構築基礎セミナー



平和構築の基礎理解増進を目的に平和構築基礎セミナーを行います。平和構築に関心を有する幅広い層を対象に、HPCと国連大学(UNU)の共催で実施します。「平和構築とは何か」・「紛争はなぜ起こるのか」・「国際社会の紛争への対応」などのテーマについて、日本国内外で活躍する講師陣による研修が行われます。

#### ④ 知的貢献

本事業では一般の方の平和構築への理解の促進のため、気軽に参加できる様々なイベントも実施しています。具体的には、専門家会合や「平和構築」をテーマにしたセミナー、シンポジウム、パネルディスカッションなどを行い、国内外で平和構築の意義や重要性を伝えます。

#### ⑤ キャリア構築サポート

平和構築分野では、人的ネットワークが最大の資源です。HPCでは、国内研修などにおける平和構築専門家との人的ネットワーク形成の機会提供のみならず、HPC独自のオンラインシステムによって、国際機関関係者等からの助言制度、修了生・研修員同士の交流の場を提供。縦横のつながりによって幅広い人脈を築き、今後のキャリア構築に役立てることが可能です。またシステムを通じて平和構築機関の空席情報提供も行っているので、タイムリーな求人情報を入手できるなど、サポート体制を確立しています。

### ○ 充実の講師陣

#### 充実のカリキュラムと講師陣

本事業の国内研修では、HPCのネットワークを駆使し、国連をはじめとする国際機関、政府機関、NGO、世界中の教育・研究機関等から、実務家、研究者、コンサルタント等として平和構築分野の第一線で活躍している、世界最高水準の講師陣を招聘しています。実践の中で様々な事例を考慮するスタイルのワークショップを通じて、これらの講師陣と研修員が双方の対話を重ねる機会を設け、また、グループワークにおいて、講師が各グループに付いて、多様な立場で議論を促進するなど、研修員が講師から可能な限り多く、多角的に学びを得られるよう工夫しています。

また、HPCのこれまでの研修実施の経験の反映や講師陣との協議によって、独自のカリキュラムの充実を図っています。その内容は、実際に研修員が現場に出てプロジェクトを行う時必要とされる手順に沿った、現場を意識した実践的なものとなっています。さらに、就職ガイダンスや応募書類作成・面接のスキルアップなど、キャリア構築支援に関する講義も組み込んでいます。

また研修の場は、平和構築支援の第一線で活躍する実務家との人脉づくりの場としても活用されています。

これらを通じて研修員は、平和構築に必要な知識・技能・姿勢を獲得することとなります。



#### ➤ 講師紹介

##### 篠田 英朗

広島平和構築人材育成センター(HPC)理事・事務局長  
国立大学法人 広島大学 平和科学研究センター・大学院  
国際協力研究科 准教授

##### 上杉 勇司

広島平和構築人材育成センター(HPC)プログラム・オフィサー  
国立大学法人 広島大学 大学院国際協力研究科 准教授

##### 杉浦 正俊

外務省 総合外交政策局 国際平和協力室長

##### 相原 泰章

内閣府 国際平和協力本部事務局 専門官

##### 阿部 俊哉

国際協力機構(JICA) 経済基盤開発部 ジェンダー・平等・  
貧困削減推進室 副室長 兼 経済基盤開発部 平和構築・  
都市・地域開発グループ 平和構築・都市・地域開発第二課  
企画役

##### 天野 里香

国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)駐日事務所 涉外担当官

##### ウィリアム・バリガ

国際移住機関(IOM)駐日事務所 駐日代表

##### 平林 国彦

国連児童基金(UNICEF)東京事務所 代表

##### 高須 直子

国際連合開発計画(UNDP)駐日代表事務所 プログラム・マネージメント・スペシャリスト

##### 本田 容子

世界食糧計画(WFP)駐日事務所 支援調整官

##### 秋葉 瑞穂(1等陸佐)

陸上自衛隊中央即応集団国際活動教育隊 隊長

##### 長谷川 祐弘

法政大学教授 東ティモール大統領特別顧問、元国連事務総長特別代表(東ティモール担当)

##### マーシャル・コンリー

コンリー・インターナショナル 会長

##### リザル・パンガビアン

ガジャマダ大学 平和と安全保障研究センター 講師  
ケビン・チャン

国際連合開発計画(UNDP)国連東ティモール統合ミッション(UNMIT)治安部門改革 チーフ・テクニカル・アドバイザー / プログラム・マネージャー

##### アマル・ジャヤワルダナ

コロンボ大学国際関係学部教授

##### ナヤニ・メレゴダ

コロンボ大学 国際関係学部長 / 国際交流基金特別研究员、広島大学平和科学研究センター客員研究員

##### デスマンド・モロイ

国連開発計画(UNDP)駐ネパール代表事務所 シニア・リハビリテーション・アドバイザー

##### フィリップ・シェトラー・ジョーンズ

欧州对外活動庁 ストラテジック・レビュー・エキСПERT(英米安定化ユニット 企画課文民専門家)、元国連平和維持活動局 オペレーション担当国連事務次長補事務室統合ミッション企画担当官

##### 田瀬 和夫

国連広報センターパキスタン事務所、所長代行、元国連事務局人道問題調整事務所(OCHA)人間の安全保障ユニット課長

##### フランシス・アマル

フォーカス・エボリューション代表、元赤十字国際委員会(ICRC)職員

##### ジョセフ・レイッタラー

国連人道問題調整事務所(OCHA)ジュニア緊急サービス局 増強人員部 人材育成開発官、元国連平和維持活動局(DPKO)文民事前配備統合訓練長、OCHA国連民軍連携協力コース 元コースディレクター

##### 小野 京子

国連平和維持活動局(DPKO)政策・評価・訓練部 ベストプラクティセクション 政策担当官

##### ケビン・J・アレン

国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)駐日事務所 eセンター コーディネーター

##### イ・キヨンシン

韓国外協力NGO協議会(KCOC)プログラム・マネージャー

##### キム・ソンテ

ワールド・ビジョン・コリア人道緊急援助局チームリーダー

##### 中村 俊裕

NPO法人コペルニク共同創設者 CEO、元国連開発グループ(UNDG)国連開発事業調整室政策専門官

##### エドワード・ジョンブロ

西アフリカ平和構築ネットワークシエラレオネ支部(WANEP-SL)代表

##### メムナツ・プラット

シエラレオネ大学平和紛争学部長(元シエラレオネ特別裁判所レガシーオフィサー)、広島大学平和科学研究センター客員研究員・大学院国際協力研究科客員教授

##### 小松原 茂樹

国連開発計画(UNDP)本部 アフリカ局 TICAD室長(TICADプログラムアドバイザー)

##### 稻葉 光彦

国連開発計画(UNDP)管理局財務部統括室ファイナンス・アドバイザー

##### パトリス・チオタ

国連平和構築支援事務局(PBSO)シニア・プログラム・アドバイザー

##### 玉内 みちる

国連児童基金(UNICEF)本部人事部外部人材登用担当官

##### 佐藤 知央

オフィスクラッチ代表

##### 伊藤 美保子

国連システム スタッフ カレッジ(UNSSC)ヒューマン・リソース・オフィサー

(肩書きは研修実施当時)



## ○ キャリア構築サポート

システム&人によって、キャリア構築支援を展開

### HPCは研修員・修了生を支援し続けます。

平和構築分野における就職は不安定な側面もあります。しかしその一方、世界の平和構築の現場では人材が不足しており、優秀な人材を求めていることも事実です。HPCでは、独自の「ロスターシステム」の他、専門

家・実務家との「出会いの機会」を提供することによってキャリア構築支援を行っています。この“システム”と“人”による両輪によって、即戦力として平和構築分野で活躍できる人材を増やすことを目指しています。

#### 1 「HPC ロスターシステム」による支援

「HPC ロスターシステム」はHPC独自のオンラインシステム。現在の研修員・修了生が登録され、登録者全員が使用可能なシステムです。様々な側面から、一人ひとりのニーズに応じたキャリア構築をサポートします。

※2011年度現在、下記「HPC ロスターシステムの概要」の機能は日本人「本コース」研修員・修了生のみ対象

#### HPC ロスターシステムの概要

##### 1 メンバーシップ機能

研修員・修了生のプロフィールを蓄積し、平和構築人材データベースとして活用するとともに、一部情報を登録メンバーに公開してコミュニケーションを促進します。

##### 2 掲示板機能

登録メンバー全員の交流の場です。年度・コースを超えて全ての登録者が交流する縦横のつながりの場を提供することで、メンバー同士のネットワーキングを支援します。

##### 3 メンター制度

国際機関の実務家・人事担当者などの専門家約30名を、メンターとしてリストアップ。直接のノウハウなどを

国内研修

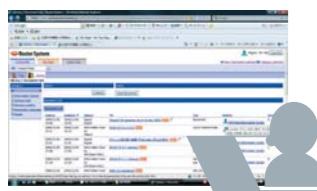
▼  
海外実務研修

研修員

これまでの研修員

#### HPCの就職支援

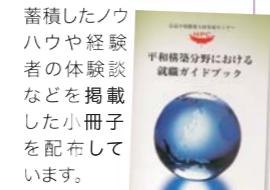
##### 1 「HPCロスターシステム」による支援



##### 2 「出会いの機会提供」による支援



##### 3 その他の支援



#### 平和構築の現場



## メンター制度をご活用ください!!



ルイーズ・ロビンソン  
InSitu-Training代表  
HPC研修講師

平成22年度の本コースで安全管理演習の講師としてプログラムに参加した後、HPCのメンターとなりました。

私は数年間、中央アフリカの大湖地方で活動していましたことがあり、その土地と人々にはとても思い入れがあります。そういう縁もあったのか、現在コンゴ民主共和国のゴマで支援をしている研修員と連絡を



中村 俊裕  
NPO法人コペルニク共同創設者 CEO、元国連開発グループ(UNDG) 国連開発事業調整室 政策専門官、HPC研修講師

メンターとして、研修員より相談を受けてきましたが、約12か月という本コース海外実務研修の期間をフルに活用しながら、どのようにして国連の長期的なポジションに入していくかが多くの方々の一番の关心事のようです。

ただ、本当に大事なのは、国連という組織に所属することによって、国際社会に対してポジティブな

取り合っています。

ゴマの歴史や音楽、言語、習慣について話し、時は違えど同じ場所で過ごしたお互いの活動中の写真を交換したりしています。

日常や人生の分岐点に立っている誰かをサポートすることは、私にとっていつも癒しです。そして、研修員の活動に関わることをとても嬉しく思っています。

影響を与える信念と情熱です。履歴書の書き方、ネットワーキングなども必要ですが、小手先のテクニックのみ惑わされず、「なぜ国連か」、「自分はどういう貢献ができるのか」を第一に考えて行動してください。

## » 過去の就職先の例

### ■国連機関

- UNDP(国連開発計画)  
コソボ、ネパール、シエラレオネ、東ティモール、ニューヨーク本部、アフガニスタン、ラオス、キプロス、ハイチ、モザンビーク、スリランカ、日本
- UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)  
ケニア、タイ、ジュネーブ本部、南スーダン、ソマリア、ネパール、日本、コソボ、スードン、エチオピア
- UNICEF(国連児童基金)  
バングラデシュ、エリトリア、シエラレオネ、東ティモール、スードン、コソボ
- UNESCO(国連教育科学文化機関)  
カンボジア、東ティモール
- WFP(国連世界食糧計画)  
ローマ本部
- FAO(国際連合食糧農業機関)  
日本、タイ
- UN-INSTRAW(国際婦人調査訓練研修所)  
ドミニカ
- UNCRD(国連地域開発センター)  
名古屋本部

- UNRWA(国連パレスチナ難民救済事業機関)  
レバノン
- ONUF&P  
カーボベルデ
- DSRSG  
ギニアビサウ、コンゴ民主国
- UNV

### ■国連ミッション

- UNMIS(国連スードン・ミッション)
- UNAMA(国連アフガニスタン支援ミッション)
- UNAMI(国連イラク支援ミッション)
- MONUSCO(国連コンゴ民主共和国安定化ミッション)

### ■国際機関

- IOM(国際移住機関)  
スリランカ、スードン、ネパール、ミャンマー
- ICRC(赤十字国際委員会)

### ■政府関係機関

- 外務省(本省、在外公館)
- 内閣府
- JICA(在外拠点各地)
- International Lifeline Fund
- JICE(国内支所)
- World Vision Japan

### ■PKO訓練センター

- KAIPTC(コフィ・アナン国際平和維持訓練センター)

### ■その他

- JPO(ジュニア・プロフェッショナル・オフィサー)  
合格者もあり(2011年11月までの実績)
- 地球環境戦略研究機構(IGES)